



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4611		
科目名	危機管理特殊研究 1		
担当教員	金山 泰介		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 2		
講義室	1314	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	6 専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H[論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K[表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L[協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M[省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1学識と専門技能 50% F1探求と論拠 10% G1状況把握 10% K1ライティングコミュニケーション 10% L1チームワーク10% M1統合的・応用的学修10%		
教員の実務経験	警察庁、都道府県警察、内閣官房、在タイ日本大使館等34年間の実務経験を基に、社会安全政策の調査研究を具体的に指導します。(第3、10～14回)		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成につながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマ科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務についての知識を習得するための基礎的な指導を行います。授業形態は、演習形式で行います。「授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。」 キーワード：社会安全政策・犯罪・事故		

授業の趣旨	■副題 社会安全政策の新たな地平を拓く。 ■授業の目的 現代社会の中にある社会安全政策の課題を探究し、その対策を研究する。 ■授業のポイント 各種メディアによって報道される様々な社会問題から鋭敏な感覚で社会安全政策の課題を探り当てること。	
総合到達目標	■一般目標（GIO） リスクマネジメントの要諦の一つである問題発見能力を身に付け、その解決へのプロセスを提示できる。 ■個別行動目標（SBOs） ・社会安全政策に関する基本的な調査手法を説明できる。（第2～4回） ・自ら選択した社会安全政策の分野における課題を説明できる。（第10～14回）	
成績評価方法	■研究計画書（70%）：適用ルーブリック E1・F1・G1・J2・K1・M1 （評価の視点） 自らの関心に合わせて、具体性のあるテーマを選定し、実行可能ではあるが困難を伴うような意欲的な計画を評価します。理解の正しさ、表現力も評価します。 （フィードバックの方法） 発表後に個別指導を行います。 ■グループワークへの参加等授業参加度（30%）：適用ルーブリック E1・J2・L1 （評価の視点） 授業への準備程度を評価します。 （フィードバックの方法） 授業内で講評します。	
履修条件	警察制度、社会安全政策論履修者が望ましい。	
履修上の注意点	社会安全政策に関する報道に積極的に接するなど情報収集に努めてください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員と受講者全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。講義 講義、研究、評価方法について詳細を理解する。 ③予習（60分）シラバスの精読 ④復習（120分）研究テーマの検討
	2	①授業テーマ 調査研究手法Ⅰ ②授業概要 社会安全政策にかかる基本的な調査研究手法（E）を理解する。（E1） ③予習（120分）事前配布資料を精読する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、自らの調査研究テーマで用いる手法を検討する。
	3	①授業テーマ 調査研究手法Ⅱ ②授業概要 調査研究テーマ及び研究方法の骨子を教員の実務経験を踏まえた指導を受けながら作成する。（E1・G1・K1） ③予習（120分）調査研究テーマ、研究方法の骨子の素案の作成 ④復習（120分）調査研究テーマ及び研究方法の骨子の作成。
	4	①授業テーマ 調査研究手法Ⅲ ②授業概要 提出された調査研究骨子の講評、添削（E1・G1・K1） ③予習（120分）調査研究テーマ及び研究方法の骨子を完成させ提出する。 ④復習（120分）講評等を踏まえ、調査研究テーマ及び研究方法の骨子の練り直し。
	5	①授業テーマ 調査研究手法Ⅳ ②授業概要 調査研究課題について個別指導を受ける。（E1・G1・K1） ③予習（120分）調査研究テーマ及び研究方法の骨子を完成させ、提出。 ④復習（120分）指導に基づき、調査研究計画の作成を開始する。
	6	①授業テーマ グループ研究Ⅰ ②授業概要 クリミナルジャスティスに関するグループ研究の目的、内容、インタビュー手法等を理解する。（E1・G1） ③予習（120分）事前配布資料の精読 ④復習（180分）インタビュー調査のポイントを整理する。
	7	①授業テーマ グループ研究Ⅱ ②授業概要 インタビュー項目をグループで検討し、最終版を作成する。（E1・K1・L1）

	③予習（120分）インタビュー項目の作成 ④復習（120分）インタビュー項目の完成
8	①授業テーマ グループ研究Ⅲ ②授業概要 模擬インタビューを実施し、改善点、追加質問項目等を把握する。（E1・G1・L1） ③予習（120分）インタビューの準備 ④復習（120分）インタビュー項目の練り直し、進行要領の検討
9	①授業テーマ グループ研究Ⅳ ②授業概要 各自が作成したインタビューマニュアルを検討し最終版を作成する。（E1・K1・L1） ③予習（120分）インタビューマニュアルの作成 ④復習（120分）インタビューマニュアルの完成
10	①授業テーマ 調査研究計画Ⅰ ②授業概要 調査研究計画を各自発表する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します。（E1・F1・G1・J2・K1・M1） ③予習（120分）次回発表予定者課題に該当するテキストの章を精読する。 ④復習（240分）調査研究計画の作成、修正
11	①授業テーマ 調査研究計画Ⅱ ②授業概要 調査研究計画を各自発表する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します。（E1・F1・G1・J2・K1・M1） ③予習（120分）次回発表予定者課題に該当するテキストの章を精読する。 ④復習（240分）調査研究計画の作成、修正
12	①授業テーマ 調査研究計画Ⅲ ②授業概要 調査研究計画を各自発表する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します。（E1・F1・G1・J2・K1・M1） ③予習（120分）次回発表予定者課題に該当するテキストの章を精読する。 ④復習（120分）調査研究計画の作成、修正
13	①授業テーマ 調査研究計画Ⅳ ②授業概要 調査研究計画を各自発表する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します（E1・F1・G1・J2・K1・M1） ③予習（120分）次回発表予定者課題に該当するテキストの章を精読する。 ④復習（240分）調査研究計画の作成、修正
14	①授業テーマ 調査研究計画Ⅴ ②授業概要 調査研究計画を各自発表する。教員の実務経験に基づき具体的に講評します。（E1・F1・G1・J2・K1・M1） ③予習（120分）次回発表予定者課題に該当するテキストの章を精読する。 ④復習（120分）調査研究計画の修正
15	①授業テーマ 全体のまとめ ②授業概要 全体のまとめを受け、リアクションペーパーの作成提出（E1・K1・M1）。 ③予習・復習(240分) 調査研究の実施
関連科目	危機管理基礎演習Ⅱ（RMGT2602）危機管理特殊研究2～4(RMGT4612～4)
教科書	「新版 警察行政概論」金山泰介 立花書房（2019） 「最新公用文用字用語例集」ぎょうせい（2010）
参考書・参考URL	「社会安全政策論」警察政策学会編 立花書房（2018）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 初回授業時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限（重複を避けるためメールで連絡願います。）その他の時間でもメールで事前アポをとることにより、研究室で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ（70%）災害マネジメント（10%）グローバルセキュリティ（10%）情報セキュリティ（10%） ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学（70%）法学（30%）



